



長崎駅かもめ口（東口）の整備状況

かわら版とは

長崎駅周辺整備の内容や進捗状況などをお知らせする目的で発行しています。



長崎駅周辺整備に関してご質問・ご意見などありましたらご連絡ください。

まちづくり部
長崎駅周辺整備室
095-829-1173(直通)



歩道橋(南北接続デッキ)工事

橋桁（人が歩く部分）の架設工事は完了しました。



現在の歩道橋(南北接続デッキ)の状態

現在の歩道橋(南北接続デッキ)は、一見すると、すべてがつながっているように見えますが、まだパーツ同士がつながっていない状態となっています。

工場から21個のパーツに分けて運び込まれてきており、これからパーツ同士をつなぎ合わせる作業(溶接)を行う必要があります。

作業内容	R7(2025)年度			
	9	10	11	12
溶接作業	→			
塗装作業		→		
仮設歩道橋の撤去作業		→		

※天候や作業状況等によりスケジュールは変更になる場合があります。

歩道橋(南北接続デッキ)のつなぎ合わせ

溶接のため、目隠しを行っています



現在、歩道橋(南北接続デッキ)の一部を板で囲っていますが、これは、溶接作業をする時に出る強い光を防ぐための目隠しです。

板で囲われた中で行われる溶接作業は、夏の暑い時期には大変となりますが、熱中症対策を取りながら進めています。



【ちょっと解説】

ボルト接合と溶接

金属と金属をつなげる方法はいくつかあります。

現在の仮組みでは、歩道橋(南北接続デッキ)はボルトで仮固定してつなげていますが、これからは溶接でつなぐとともに、仮固定部分を取り除くことで、接合部分を目立たなくさせて景観性やデザイン性を高めます。

ボルト接合

ボルトを用いて金属と金属を固定してつなげる方法です。

比較的簡単に取り付けや取り外しができ、熱を加える必要がないため、金属の変形を防ぐことができますが、重量が増える欠点があります。



溶接

金属に熱を加えて溶かし、金属と金属をつなげる方法です。

金属同士を一体化させることで、接合部分の強度を高めることができます。あわせて、軽量化を図ることが可能です。

